

令和7年度 栗東市社会教育関係事業計画について

生涯学習課

生涯学習推進事業

1. 社会教育委員事業

(内 容) 社会教育に関する諸計画・事業及び社会教育関係団体への支援に係る調査審議を行います。

市関係

- 第1回栗東市社会教育委員会議 7月24日(木) 危機管理センター 大研修室
- 第2回栗東市社会教育委員会議 2月頃 未定

全国・近畿・県関係

- 第67回全国社会教育研究大会〔岩手大会：岩手市民文化ホール、他〕
10月29日(水)～31日(金)
- 令和7年度近畿地区社会教育研究大会〔和歌山大会：和歌山県民文化会館〕
9月5日(金)
- 令和7年度滋賀県社会教育研究大会
11月6日(木) 13:30～
- 滋賀県社会教育委員連絡協議会理事会
第1回： 5月19日(月) 13:30～
第2回： 11月 6日(木) 10:30～
第3回： 2月13日(金) 14:00～

2. 生涯学習情報提供事業

(内 容) 生涯学習に関する情報の提供をします。

- 生涯学習人材バンクへの登録募集と登録者の紹介(10人)
- 生涯学習活動団体の登録と活動の紹介(33団体)

3. 人権教育巡回講座事業

●人権教育巡回講座事業

「人権教育巡回講座」は、地域推進協議会との連携により人権にかかる住民への啓発研修事業として2015(平成27)年度まで、各コミュニティセンターを巡回して開催していた講座であるが、参加者や関係者からのご意見をもとに、現在は、主として各学区住民が参加対象となる各中学校区の人権教育地域ネット協議会の「小学校区運営委員会主催の研修事業」に兼ねるという形で、学区ごとに研修会を計画・実施をしています。

●平和学習事業

平和の大切さを後世に継承していくため、「平和学習」を実施しています。当時の様子を映像で見たり、戦争のお話を聴いたりして平和の尊さについて学習する機会をつくります。

4. コミュニティセンターを活用した社会教育事業

「第六次栗東市総合計画」に基づき、地域の拠点施設であるコミュニティセンターを活用して「暮らしの安全を支える」を基本施策に、広く市民がそれぞれのライフステージに応じた学びができるよう、多種多様な学習機会や情報の提供、人材育成や交流等の事業を実施しています。

また一部の事業においては、市内関係施設に協力を得て、利用しやすい施設での実施をしています。

● はつらつ教養大学事業

各コミュニティセンター毎に、日常生活を楽しく明るく生活に生かせる講座の開催に努め、年間5回の講座を開催します。

主な内容：健康講座（体操・運動・健康情報・睡眠など）、老化予防講座（認知症予防・フレイル予防・介護・医療など）、趣味娯楽講座（音楽鑑賞・歴史・演芸・マジックなど）、安心安全講座（金銭トラブルなど）

● 社会教育重点分野事業

3つの重点テーマを設け、各テーマについて実施します。

① 子育て

親子英語教室	年間6回
親子リトミック教室	年間4回
親子お菓子づくり教室	年間3回
親子リズム体操教室	年間2回

② まちづくり 4講座

- ・睡眠セミナー
- ・台風・大雨の知識と減災対策について
- ・相続・贈与の基礎知識
- ・将来に向けて知っておきたいお金の話

③ 環境 5講座

- ・グリーンカーテンで夏を楽しもう
- ・ホテル観察学習会（1回）
- ・エコな食事メニューを考えよう
- ・ランタン工作教室

青少年教育推進事業

1. 「放課後子ども教室」推進事業

（内 容）地域で子どもを育てる環境の整備とこどもを中心とした地域住民の交流を推進します。

5月～2月 8小学校区（金勝、葉山東、治田、治田東、治田西、大宝、大宝東、大宝西）

2. アドベンチャーキャンプ事業

(内 容) 集団生活を通じて自己を見つめ、友情を育み、仲間づくりの大切さと素晴らしさを理解し、創造性や自立心を身につけ、地域の青少年活動リーダーとなる人材を養成します。

- 出会いと交流のつどい 時期等未定
- 自然体験研修 時期等未定
- 思い出と友情のつどい 時期等未定

(実施主体) 栗東市アドベンチャーキャンプ実行委員会

3. 青少年育成（活動）団体事業

(内 容) 青少年育成（活動）団体との連携及び支援を行います。

- 栗東市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会
- 栗東市PTA連絡協議会
- 栗東市少年少女発明クラブ

4. 栗東市人権問題青年集会事業

(内 容) 人権問題に対する正しい理解と解決に向けての意識改革の推進を目的に、市内在住・在勤の青年に「人権問題」について何ができるのかを考えてもらい、差別のない社会の実現をめざします。

(委託先) 栗東市人権問題青年集会実行委員会

5. 子ども読書活動推進計画の推進と進捗管理

(内 容) 第4次子ども読書活動推進計画（計画期間 令和7年度～令和11年度までの5年間）の推進と進捗管理を行います。

青少年対策（育成）事業

1. 青少年育成市民会議事業

(内 容) 地域教育力の回復と健全な環境での青少年育成及び青少年の自主的活動を支援します。

- 中学生広場「私の思い2025」栗東市大会（審査会）7月5日（土）栗東歴史民俗博物館
- 青少年育成ミニ会議の推進 （期間）7月～2月 各自治会で実施
- 栗東市青少年育成大会 1月24日（土）芸術文化会館さくら中ホール
- 愛のパトロール研修会 6月 7日（土）なごやかセンター集会室
- あいさつ運動・愛のパトロール （期間）6月～3月
- 白ポスト有害図書回収 （期間）4月～3月
- 子ども110番訓練 （期間）5月～3月 市内園児・小学生対象
- 子ども110番旗の設置拡大への支援
- 情報誌「息吹」発行 年1回（3月）
- ありがとうと言える子育て運動の推進
- 子育てのための12か条の推進

2. 社会を明るくする運動推進委員会事業

(内 容) 青少年の非行防止と罪を犯した人への更生保護（7月強調月間）を行います。

- 社会を明るくする運動栗東市推進委員会 7月8日（火） 書面議決
- 社会を明るくする運動メッセージ伝達式 7月1日（火） 市長室（関係者のみ）
街頭啓発 7月1日（火） 市内量販店
- 愛の募金運動 7月～8月 各自治会・市役所全課
- 研修会・集会・地域会議等に対する助成 7月～3月 各自治会・各関係団体

3. はたちのつどい事業

(内 容) 20歳を迎えた青年たちへの祝福及び義務と責任を促します。

- はたちのつどい 令和8年1月11日（日） 芸術文化会館さくら大ホール
- 記念行事

4. 自然体験学習センター「森の未来館」管理業務

(内 容) 豊かな自然の中で集団生活と宿泊研修を通じて、豊かな心を育み、明るくたくましい青少年を育成するとともに生涯学習の振興を図ります。

指定管理・・・株式会社しびりこ（令和7年度～令和8年度）

また、こんぜの里周辺山の施設と合わせ、方向性を確定する予定です。

5. 青少年問題協議会

地方青少年問題協議会法に基づき、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議及び関係行政機関相互の連絡調整等を目的に設置されています。

しかし、法改正により、市町協議会設置が必置義務から努力義務へとなり、会長（市長）・委員選出（議員等）の要件が削除されました。

〈今後について〉

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策については、生涯学習課青少年教育係、少年センターや少年補導委員会、青少年育成市民会議の活動において実施しており、また、青少年をめぐる課題の推移の中で、課題ごとに協議会や会議等で協議・検討が進められ、相互に補完し合いながら課題対応に取り組んでいます。

青少年の保護、矯正に関する事項についての審議・調整を目的とする協議会の役割は希薄化してきており、課題が多様化・複雑化する中で、本協議会のような包括的な協議より、各関係機関と専門的な会議においての専門化・焦点化した協議の方が、課題解決には効率的であると考えます。

このことから、地方青少年問題協議会法に基づく、青少年の保護、矯正に関する審議を目的とする協議会は、根拠条例と共に廃止したく考えます。

青少年における課題については、教育委員会部局に加え、市長部局や関係機関と連携し、組織横断的に取り組んでいきます。

少年センター

1 非行防止・啓発事業

1) 小学生や中学生を対象とした「非行防止教室・薬物乱用防止教室」の実施

少年補導委員会啓発部会と草津警察署の協力のもと、初発型非行 防止と薬物乱用防止を目的に、学校の希望（日時）に応じて実施する。

①「非行防止教室」（小学校4年生対象と保幼5歳児対象）の実施

No.	日 時	小学校	内 容
1	6月23日（月） 2時限目 9:35～10:20	金 勝小学校4年生（60名） 校長：中川章子 担当者：片山	ビデオ視聴 「万引きは、ぜったい悪い！」 学習・講話 「初発型非行：万引き、 夏休みの安全など」
2	6月24日（火） 6時限目 14:35～15:20	治 田小学校4年生（143名） 校長：黒川俊文 担当者：岩井	
3	6月27日（金） 6時限目 14:30～15:15	治田東小学校4年生（67名） 校長：横井久美香 担当者：藤田	
4	6月30日（月） 4時限目 11:30～12:15	大 宝小学校4年生（90名） 校長：坂東靖記 担当者：石飛	
5	7月 2日（水） 6時限目 13:45～14:25	大宝東小学校4年生（56名） 校長：安本昌彦 担当者：梅原	
6	7月 3日（木） 2時限目 9:35～10:20	治田西小学校4年生（92名） 校長：野瀬めぐみ 担当者：佐藤純	
7	7月10日（木） 3時限目 10:45～11:30	葉山東小学校4年生（84名） 校長：山口敏生 担当者：井川	
8	7月11日（金） 5時限目 13:45～14:30	葉 山小学校4年生（49名） 校長：松濱秀幸 担当者：鈴木	
9	7月14日（月） 2時限目 10:40～11:25	大宝西小学校4年生（60名） 校長：石田智香子 担当者：川口	

5歳児対象教室は、希望園にて2月実施予定

※7月、青少年の被害・非行防止全国強調月間に市内中学校生徒会と連携した啓発活動を実施。

（7月4日8:00～8:20 葉山中学校にて）

②小・中学校における薬物乱用防止教室（小学校6年生対象）・啓発活動の実施

10月～11月にかけて実施を予定している。（詳細は補導委員会啓発部会にて計画予定）

2) 青少年健全育成のための出前講座の実施

栗東市内の自治会やPTA、地域振興協議会等の要請に応じ、青少年の健全育成にかかる研修会、啓発活動を実施する。

* 子どもの安心と安全……SNS／インターネット利用上の注意、闇バイト等による犯罪行為、児童虐待、性被害防止

* 青少年の健全育成 ……非行の現状・社会状況の変化とその対応、地域や家庭の役割など

3) 少年相談活動

・少年やその家族、学校、関係者などからの相談を受け、悩みを共有しながら問題の解決に向けた助言を行い、必要に応じて専門の相談機関へつなぐ。

・来所による相談だけでなく、電話・メール・訪問相談を行う。

・関係機関からのケース移管による相談、支援を実施する。

4) 少年センターの活動の周知

①少年センターだよりの発行

広報紙「少年センターだより」を3か月に1度（春夏秋冬号）発行し、市内各自治会に回覧するとともに関係機関・団体や学校に配付する。

②少年センターチラシ、相談カードの作成及びホームページによる情報提供

少年センターの周知と利用を目的にしたチラシと相談カードを作成し、学校、関係機関・団体などへ配布する。また、ホームページによる情報提供を行い、少年センターの周知に努める。小・中学校卒業生にチラシを配布し、センターの活用を促す。

5) 環境浄化活動

①有害図書等取扱店への立ち入り調査

警察や学校、関係機関に協力依頼し、県条例に規定されている有害図書やDVD等取扱店、カラオケ、有害玩具販売店（調査対象：市内39店舗）へ毎月10～12店舗をめどに（一店舗 年間3回～4回）訪問し、商品の陳列方法や管理販売が適切に行われているかを調査する。

②刃物、有害玩具取扱店への立入り調査

県条例に規定されている刃物（10月県下一斉の立入調査）やエアガン等有害玩具店（刃物類取扱店 市内29店舗）に立入り、商品の陳列方法や管理、販売が適切に行われているかを調査する。

③ゲーム機器設置場所等への巡回

量販店のゲームコーナーを街頭補導時に巡回し、午後6時以降にゲームに興じる少年に声をかけ、店側に県条例遵守について啓発する。

2 非行少年対策事業

1) 街頭補導活動・あいさつ運動

①通常補導（15時30分～16時30分、19時～20時 の時間帯）

少年補導委員と学校教職員（15時30分からのみ）が合同で、毎月3回、年間を通して実施する。

＊重点箇所：①市役所周辺～JR手原駅 ②JR栗東駅周辺～大型量販店～さくら周辺

＊実施方法：青パトによる市内広域巡回と重点箇所の定点観察

＊少年補導委員の活動としては、4月から各学区単位で方法、時間等を考慮し実施する。

また、中学校区単位で中学校PTA等と連携し、あいさつ運動を実施する。

②特別補導と随時補導

7月や11月の強調月間に少年補導委員と学校、関係機関等で実施する。

また、下校時の安全確保や地域情報等に基づき、センター職員で随時補導を実施する。

2) 学校支援・通所指導

①学校支援活動

- ・学校からの要請による訪問 ……学校からの要請を受け、訪問及び学習参観の実施
- ・学校の要請に応じ、学校支援活動（個別支援、校内巡視、対応相談等）を実施する。

②非行少年対応活動

- ・対象少年の把握をする。
 - * 学校や学校教育課、草津警察署などと連携、情報共有をして非行や不良行為の心配のある生徒を把握（市主催の生徒指導主事会に出席し、情報を得る）
- ・通所指導による立ち直り支援を行う。
 - * 非行や不良行為を犯した少年に対して、学校や保護者からの要望を受け、センターで面接による指導、相談による立ち直り支援を行う。

③高校中退者・無職少年の支援活動

- ・対象少年の把握に努める。
 - * 関係機関（中学校・高等学校等・草津署生活安全課・県や市の機関・団体）との連携を図る。
- ・新湖南地区高等学校生徒指導連絡協議会へ参加し、情報を収集する。
- ・就労と就学支援を実施する。
 - * 無職少年の自立支援をめざして、関係機関や支援企業等とも連携し、社会参加に向けた相談や支援活動を行う。

3) 街頭啓発活動の実施

①7月と11月の非行防止等の街頭啓発

「青少年の被害・非行防止全国強調月間」や「麻薬・覚せい剤・大麻乱用防止運動」、「子ども・若者育成支援推進強調月間」などの期間中に、駅前や量販店頭において、少年補導委員会等と街頭啓発活動を行う。7月は、街頭、量販店のほか、中学校での啓発活動を行う。

②「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の街頭啓発

6月26日の「国際麻薬乱用撲滅デー」の周知及び薬物乱用防止啓発として栗東市におけるキャンペーンを6月21日に実施。

3 関係機関・団体との連携

1) 少年補導委員会との協働と連携活動

少年補導委員会事務局として、街頭補導活動や非行防止啓発活動、研修会等を実施する。

- ・定例の本部会と幹事会を2ヶ月に1回。必要に応じて臨時会を開催
- ・5/10に定例総会を開催
- ・5/10定例総会後に補導委員会研修会を開催
- ・9/27に県青少年補導センター連絡協議会研修大会に参加予定
- ・11/11に管外研修予定（福井県舞鶴学園：社会福祉法人・児童養護施設）

2) 学校連携対応活動

- ・市内生徒指導主事主任会に出席し、情報共有と生徒支援のための協力体制をつくる。
- ・学校からの要望に応じてケース会議や健全育成懇談会に出席する。
- ・新湖南地区（草津、守山、野洲、栗東）高等学校等連絡協議会に出席して情報共有をする。

3) 関係団体との連携

- ・青少年育成を行っている機関や団体と連携して青少年の支援にあたり、地域での見守りを依頼する。

＊青少年育成市民会議 ＊保護司会 ＊更生保護女性会

＊民生委員児童委員連絡協議会連合会 ＊BBS会など

- ・広域連携による情報共有を行う。

＊滋賀県青少年補導センター連絡協議会に所属し、広域的に協働、連携

4 効率的な組織運営事業

1) 情報収集と発信活動

①地域情報の収集と関係機関への発信を行う。

- ＊少年補導委員や学校、その他関係機関からの地域情報の共有に努め、非行の未然防止や安全確保に努める。

②不審者情報の集約を行う。

- ＊市危機管理課および新湖南地区高等学校等、草津、守山・野洲の各少年センターとの連携を密にして情報のやり取りを行う。また、得た情報をもとに街頭パトロールを行う。

2) 職員の資質向上に向けた研修への参加

- ・滋賀県青少年補導センター・あすく合同研修会
- ・滋賀県青少年補導センター連絡協議会研修大会
- ・滋賀県青少年育成団体研修会
- ・滋賀県青少年補導センター連絡協議会湖南ブロック研修会

栗東自然観察の森

1. 各種イベントの実施

(1)自然観察会コース

① 自然観察会

(内容) 四季折々のみどころをテーマに植生の解説をはじめ、この森に生きる小動物や昆虫の生態などの話題を交え、インタープリター(観察指導員)や森で活動するボランティアが園内を案内します。

* 対象：どなたでも 月2回(基本第2・4日曜日と5月4日[㊞])に実施(年間23回)

② 親子観察会

(内容) 幼児から小学校の低学年向けに身近な生き物や園内に自生する植物の四季折々の見どころなどを案内し、観察する楽しさを体験していただきます。

* 対象：親子(どなたでも) 月1~2回、日曜日に実施(年間16回)

③ ミニ観察会と保育・幼稚・こども園、小学校等の園外保育と校外学習

(内容) 主に初来園の少数グループや園児・児童団体を中心に園内を案内し、解説します。

* 一般(親子・少数グループ等) 随時

(2)ミニクラフト

(内容) 木の実など自然の素材を使って、幼児から高齢者までが楽しめる四季折々のクラフトづくりを実施します。

* 対象：どなたでも 1~3月を除く毎月1回(12月は2回)、日曜日に実施(年間10回)

(3)自然だいきコース(予約制)

(内容) 自然とふれあい、自然の恵みを活かしてのものづくりの楽しさ等の体験を通じ、森で活動するボランティアとともに親睦や交流を深める機会を提供します。

* 対象：どなたでも 年間4回(7・8・10月の土曜日と森の秋まつり開催時)に実施

(4)JVR養成講座(登録制：今年度13人)

(内容) 自然体験をとおして、自然と人との関わり方について考える環境リーダーを養成します。受講生相互に仲間意識を醸成させるとともに、支援いただくボランティアの協力のもと世代間の交流の場となる機会を提供します。

* 対象：小学3年生~中学3年生 4・5・11・1月を除く毎月1回、土曜日に実施(年間8回)

(5)森の秋まつり

(内容) 自然の恵みに感謝し、森の魅力をPRする恒例イベントとして、関係ボランティア団体との連携協力により開催します。

* 対象：どなたでも 10月19日(日)

2. 施設等の安全対策など

(内容) 施設及び園内の安全、利便性を確保するとともに良好な環境整備を実施します。

(1) ネイチャーセンター(管理棟)における設備機器の日常点検

(2) 園内観察路等の巡回による危険箇所の把握と修繕(木道、階段など)

(3) 松枯れ被害木や風倒木等の伐倒処理及び松枯れ防除などの実施

(4) 適切な植生管理と再生保育

(5) 来園者を気持ち良く迎え、お帰りいただくための施設や散策路の清掃

3. 園・学校との連携及び諸団体への支援・協力

(内容)

- (1) 保育・幼稚・こども園等における園外保育や小学校の校外学習、中学校の勤労体験、各種団体の研修に供する利用に際しては、受入態勢を整え支援と協力を行います。
- (2) 本市の文化ゾーンにある市立図書館・歴史民俗博物館とは、秋の三施設連携イベント開催に向けて、引き続き協力していきます。

4. 森の PR 活動

(内容)

- (1) みどころマップ等の設置・配布：園内の案内を兼ねて毎月「みどころマップ・案内図」や「ネイチャークイズ」を配置、配布します。更に「今が見ごろ」にスポットをあてた植物写真を園内に掲示します。
- (2) りすじろう通信の発行：保育・幼稚園や学校の来園に際しては、学習の様子を「りすじろう通信」として発行し、そのなかで再来園につなげる呼びかけをしていきます。
- (3) 広報りっとう：毎月の広報紙面の「お知らせ版」で森のイベントを紹介します。
- (4) インターネット等
 - ・市のホームページに、
 - ア) 開園カレンダー・イベント案内を掲載します。
 - イ) 四季折々に森でみられる植物や動物を、撮影日も入れて写真で紹介します。
 - ウ) 森で実施したイベント活動の状況や参加者の声も「りすじろう通信」が紹介します。
 - ・フェイスブックに、タイムリーな情報を提供します。
 - ・スマートフォン専用アプリQRコードを活用した自然動画を紹介します。
- (5) 公共施設等での掲示：JR 手原駅の案内所、JR 栗東駅自由通路の東西掲示板、各小学校、図書館、歴史民俗博物館、学習支援センター、自然体験学習センター「森の未来館」及び各コミセンなどに毎月のポスターを掲示します。
- (6) 県・報道機関：イベント情報の資料を提供します。
- (7) 展示の充実：館内展示エリアに毎月のクラフトの試作品や森で活動する児童や大人の作品の展示による啓発に努めます。また、森に関心を持ってもらうために、生きものの痕跡を掲示していきます。

5. 再来園を促す取組み

(内容)

- (1) ネイチャーポイントカードを発行し、以後来園毎にポイントを付与、上限ポイントに達した時点で手作り記念品を贈呈します。
- (2) 毎月1回を基本に小学校低学年向けにネイチャークイズを作成し随時解説するとともに、小学校の校外学習でも活用します。
- (3) 園・学校等からの来園者に家族で再来園いただけるよう案内します。

人権擁護課

人権教育・啓発係

1. じんけんミーティング

(内 容)

○幅広い人権問題への関心を高めるため、自治会ごとに人権尊重の学習活動を推進

- ・ 社会人権教育推進員説明会の実施（10回）
- ・ 市内126自治会でのじんけんミーティングの実施

（実施方法）「講演会参加型」「資料回覧型」「従来の懇談会型」より選択

2. 人権啓発リーダー講座

(内 容)

○地域や学校園で主体的に人権啓発を行うリーダーの育成（8回）

- ・ はじめの一步コース （2回）7月 3日、7月 8日、7月11日、7月28日
- ・ 明日へ一步コース （4回）8月 5日、8月 6日、8月7日、8月19日

3. 栗東市人権尊重推進協議会

(内 容)

○差別のない、心の通いあった、住みよいまちづくりの実現にむけた活動

- ・ 広 報 部 会 … 人権意識の高揚と定着に関わる広報活動の推進
 広報紙「みんなの人推協」の発行（9月・3月）
- ・ 啓 発 部 会 … 人権啓発作品募集・審査や市民への人権啓発活動の推進
 人権啓発作品募集（11～12月）、審査（1月）、作品集の作成（3月）
 大宝西ふれあい解放文化祭（10月18日、19日）、じんけん広場ふれあい
 文化祭（11月8日）での啓発活動
- ・ 研 修 部 会 … 「人権を考える市民のつどい」の企画運営
 「人権を考える市民のつどい」（2月21日）
- ・ 市 民 活 動 部 会 … 栗東市人権教育地域ネット事業へ参画し、学校・園・家庭・地域の連携の推進

4. 栗東市人権教育地域ネット協議会および学区運営委員会

(内 容)

○人権が尊重された学校・園・地域の実現を目指し、それぞれが連携した人権教育の推進

・中学校区別全体協議会

栗東中学校区 2回（7月は書面決議・2月）

葉山中学校区 2回（6月26日・2月 6日）

栗東西中学校区 2回（6月28日・3月10日）

・中学校区合同研修会

栗東中学校区 1回（動画配信） 講師： 未定

葉山中学校区 1回（11月 7日） 講師：田邊 九二彦さん、藤森 泰志さん

栗東西中学校区 1回（11月11日） 講師：北出 新司さん

5. 栗東市人権教育研究大会

(内 容)

○栗東市民および栗東市に勤務する者の人権意識の高揚と、各校園所における取り組みについての交流の推進

・日時 8月2日（土）8：15～12：15 全体会（映像配信）および分科会

・会場 市内3小中学校（葉山中学校、金勝小学校、治田西小学校）において分散して開催

6. 小柿地域教育推進事業

(内 容)

○地域住民との親睦を図り、交流を深める事業（じんけん広場ふれあい文化祭）と差別事象の根絶を目指した研修の推進

・じんけん広場ふれあい文化祭（11月8日）※1日開催に変更

スポーツ・文化振興課

文化財保護係

1.文化財保護事業

◆ 文化財審議会

(内容)・文化財指定、保護及び活用に関する重要事項の調査審議(年2回予定)

◆ 文化財保護啓発事業

(内容)・国指定名勝大角氏庭園修景整備事業

- ・第72回文化財防火デーに伴う消防訓練、防火査察(1月(予定))
- ・遺跡活用事業
- ・連続講座栗太郡衙岡遺跡(3月(予定))
- ・地山古墳草刈りプロジェクト(2月(予定))

◆ 文化財調査事業

(内容)・埋蔵文化財発掘・試掘調査(年間を通じて)

民間開発事業 事業量多い

- ・埋蔵文化財保存目的調査(阿弥陀寺宮城家墓所、岡遺跡)

◆ 文化財補助事業

(内容)・国・県・市指定文化財管理事業 18件

- ・県選択無形民俗文化財団体育成事業 3件

◆ 史跡旧和中散本舗・名勝大角氏庭園保存活用計画策定事業

(内容)・史跡旧和中散本舗・名勝大角氏庭園の保存活用計画策定

2.出土文化財センター管理運営事業

◆ 展示・公開事業

(内容)・収蔵資料展示・公開 随時

◆ 普及啓発事業

(内容)・発掘調査体験事業(未定)

- ・子ども考古学体験(勾玉づくりと火起こし・8月)
- ・出土文化財センター春の公開(5月)
- ・出土文化財センター秋の公開(11月(予定))
- ・教室事業(依頼に基づく指導・講義、出前講座開催など)(年間を通じて)

◆ 調査整理事業

(内容)・出土資料整理調査(国庫補助金関係発掘調査資料の整理)(年間を通じて)

※当施設では、(公財)栗東市スポーツ協会との共催又は支援を受けて事業を展開している。

1.文化振興事業

◆ 文化祭事業

(内容) 各種文化活動の奨励と振興を図るため、様々な分野において市民が気軽に参加できる文化祭を実施する。(栗東市文化協会に委託)

- ・美術展(6/20~22)、将棋大会(10/5)、作品展(いけばな・文芸)・呈茶席(11/8~9)、芸能まつり(11/9)

会場 栗東芸術文化会館さくら

◆ 美術展事業

(内容) 市民の芸術への関心を高め、心豊かな文化生活を実現するとともに、文化のまちづくりに寄与することを目的として開催する。(栗東市美術展実行委員会に委託)

- ・期日 10月22日~10月26日

会場 栗東芸術文化会館さくら

◆ 音楽祭開催事業

(内容) 市民の身近な音楽鑑賞の場として、第51回栗東市音楽祭「音楽の森コンサート」を開催する。(栗東音楽振興会に委託)

- ・期日 10月19日(日)

会場 栗東芸術文化会館さくら

◆ 文化協会補助事業

(内容) 市内の文化団体及び会員相互の連携を図り、その研鑽と活動を通じて市民の文化向上に貢献するとともに、相互の親睦を図ることを目的とし栗東市文化協会を補助する。

- ・文化団体への交付金交付(13部門、33団体)
- ・郷土芸能部門、美術部門、謡曲部門、吟道部門、花道部門、茶道部門、雅楽部門、文芸部門、将棋部門、洋楽部門、舞踊部門、芸能部門、民謡部門
- ・部門別発表会の開催(13部門)

◆ 音楽振興会活動・研修補助事業

(内容) 地域に根ざした音楽文化活動の普及発展を目的に栗東音楽振興会の活動を補助する。

- ・RISS ロビーコンサート(6月28日、10月上旬、2月上旬)
- ・大西宇宙 バリトンリサイタル(7月27日)
- ・RISS ミュージックフェア(3月8日)
- ・ピアノ・ミュージック巡回コンサート(年間を通じて)
- ・リトミック、ミュージックベル・トーンチャイム研究会(年間を通じて)
- ・オカリナ研修会(年間を通じて)
- ・広報「RISS」発行(年3回)

◆ 少年少女合唱団活動補助事業

(内容) 合唱活動を通じ、児童生徒の情操豊かな健全育成を図り、市の文化振興と児童合唱の普及に努めることを目的に栗東市少年少女合唱団の活動を補助する。

- ・第 70 回滋賀県合唱祭への参加 (6 月 15 日)
- ・国スポ・障スポ合唱隊練習 (8 月 7 日、8 月 19 日、8 月 24 日)
- ・戦没者慰霊祭 (9 月 6 日)
- ・国スポ開会式 (9 月 28 日)
- ・滋賀県少年少女合唱祭中学生以上研修会への参加
- ・国スポ閉会式 (10 月 8 日)
- ・障スポ開会式 (10 月 25 日)
- ・閉会式 (10 月 27 日)
- ・第 34 回滋賀県少年少女合唱祭への参加 (11 月 23 日)
- ・体験教室開催

◆ 芸術文化会館管理運営事業

(内容) 栗東芸術文化会館さきらを(株)ケイミックスパブリックビジネスが指定管理者として管理運営を行っている。令和 3～令和 7 年度の 5 年間。令和 7 年度は次期指定管理者の募集・選定を行う。

また開館から 20 年余りが過ぎ、施設老朽化に伴う各種工事および修繕を市が実施。

- ・大ホール舞台機構改修工事
- ・小ホール音響設備改修工事他

2. スポーツ振興事業

◆ ロード競技三大会事業

(内容) 実行委員会、運営委員会を組織し、くりちゃんファミリーマラソン 2025、第 69 回耐寒アベック登山大会、第 52 回びわこ栗東駅伝～クロカン in 野洲川～の三大会を実施し、市民はもちろんのこと、市外からも多くの方々に参加いただいております。スポーツ振興と健康増進を図ることを目的とし開催する。

(栗東市ロード競技三大会実行委員会に委託)

- ・くりちゃんファミリーマラソン 2025 (11 月 23 日)
- ・第 69 回耐寒アベック登山大会 (1 月 18 日)
- ・第 52 回びわこ栗東駅伝～クロカン in 野洲川～ (2 月 15 日)

◆ 市民スポーツ大会開催事業

(内容) 市内には、各種目別に大勢のスポーツ愛好者が存在することから、さらなる市のスポーツ振興と市民の健康増進を目的として、種目別に市民大会を開催している。

(公益財団法人栗東市スポーツ協会に委託)

ソフトテニス大会他全 20 競技(種目)の大会を開催

◆ 学校体育施設開放事業

(内容) 市民が気軽にスポーツができる場として、市内小・中学校の体育館、柔剣道場、グラウンド、プールを開放する。令和 7 年度は予約システムの導入に合わせた運用の見直しを図る。

スポーツ少年団体等 84 団体が登録 (6 月末現在)

◆ 生涯スポーツ振興事業

(内容) 市及び地域のスポーツ振興・普及のための事業を実施すると共に、地域スポーツ団体指導者への指導、育成を目的に実施する。(栗東市スポーツ推進委員協議会に委託)

◆ 社会体育施設管理委託事業

(内容) 栗東市社会体育施設について、公益財団法人栗東市スポーツ協会が指定管理者として管理運営を行っている。令和 3～令和 7 年度の 5 年間。令和 7 年度は次期指定管理者の募集・選定を行う。

◆ 社会体育施設整備事業

(内容) 社会体育施設施設の改修・修繕工事等の実施。各施設の老朽化対策が必要。令和 7 年度は国スポ・障スポ開催に向け、会場となる栗東市民体育館を中心に改修を行う。

- ・市民体育館エントランス他改修工事
- ・栗東運動公園テニスコート改修工事

歴史民俗博物館

1. 展覧会開催事業（通史展示の充実、特集展示等の開催）

（内容）

通史展示「栗東の歴史と民俗」では、考古学、美術工芸、歴史、民俗といった各分野を通じて、栗東の歴史や文化を幅広く紹介します。また、テーマを絞った特集展示やロビー展示を開催し、栗東の歴史や文化により深く迫ります。それに加え、各展示に関連する講座や解説会を企画することで、来館者が展示内容をより深く理解する機会を提供します。さらに、大字単位で地域の歴史と文化を探究する“小地域展”では、治田地区から上鉤地域を取り上げます。

○通史展示「栗東の歴史と民俗」（第1展示室） 通年

- ・栗東市内発掘調査成果展「レトロ・レトロの展覧会」（R7.3/8～5/11）

（共催：公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

○特集展示等（第2展示室）

- ・小地域展「目川の歴史と文化」（3/8～5/11）
- ・収蔵品展「神さまの美術」（5/24～7/6）
- ・終戦80年 特集展示「平和のいしずえ 2025～戦争と地域のくらし～」(7/19～8/31)
- ・収蔵品展 民具資料（9/13～11/30）
- ・栗東歴史民俗博物館開館35周年記念
特集展示「栗東の仏教美術－旧山口寺と金勝谷の宗教文化－」（1/10～2/23）
- ・小地域展「上鉤の歴史と文化」（3/7～会期末未定）

○ロビー展示

- ・ロビー展示「EXPO2025 大阪・関西万博記念展」（5/24～7/6）
- ・ロビー展示「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 記念展」（9/13～11/30）

2. 市民参画推進事業（市民学芸員支援事業等）

（内容）

歴史民俗博物館への市民参画を推進する取り組みとして、以下の活動を展開します。

まず、市民学芸員の会の活動を支援し、歴史民俗博物館を支えるパートナーとして協力関係を築きます。さらに、自治会やコミュニティセンター、各種文化サークルが主催する事業に出前講座を実施することで、栗東の歴史や文化の普及啓発を図るとともに、歴史民俗博物館の活動をより広く発信していきます。

これらの取り組みを通じて、重点目標である「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館」の実現を目指します。

3. 博学連携事業（博物館教室「昔の暮らし」の開催等）

（内容）

小学校 3 年生の社会科単元「市の様子の移り変わり」に対応した体験学習プログラムとして、登録有形文化財である移築民家「旧中島家住宅」を活用した博物館教室「昔の暮らし」を実施します。この取り組みでは、実際の資料に触れながら、教室内では難しい体験型の学びの場を提供します。対象は市立小学校 9 校に加え、近隣の小学校も含めて実施します。また、市立中学校のチャレンジウィーク事業（勤労体験学習）として、博物館での受け入れを行います。

さらに、県内及び近郊の大学に在籍する学生を対象に、学芸員資格取得を目的とした博物館実習生の受け入れも実施します。

4. 博物館施設の適正管理

（内容）

収蔵資料を適切な環境で保管し、施設利用者の利便性を確保するため、施設の維持管理や空調機器をはじめとする各種設備の保守点検を行います。また、老朽化が進んだ施設や設備については、突発的な不具合に対応し、必要な修繕を実施します。特に、空調機や空調制御機器、消防設備の修繕及び工事を計画しています。

加えて、開館から 35 年が経過した施設の長寿命化を目指し、具体的な大規模改修計画の検討を進めます。

5. 他の関連施設との連携事業の実施

（内容）

文化ゾーンに位置する自然観察の森、図書館、歴史民俗博物館が連携して実施する「3 施設秋めぐり」について、事業を継続し、各施設の利用促進を図ります。

(参考資料)

令和 7 年度

栗東歴史民俗博物館 重点目標「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館を目指して」

歴史民俗博物館では、歴史を学び地域の誇りを育む博物館として、地域に関わる資料の収集・保存・調査・研究を進めます。その成果を基に通史展示「栗東の歴史と民俗」の充実に努めるとともに、特集展示・ロビー展示等を開催し、栗東の豊かな歴史と文化にふれる機会を提供します。また、大字単位で地域の歴史と文化を探求する“小地域展”では、治田地区から大字上鉤をとりあげ、地域資料の再発掘に努めます。

令和 7 年度は、終戦 80 周年を迎えることから、市の「心をつなぐふるさと栗東」平和都市宣言を受けて開館以来継続している“平和のいしずえ展”について、戦時中を知る市民の体験談から当時の暮らしを知る講座の開催も含め、内容の充実に図ります。また、市内寺院に伝来した美術工芸品を中心に展示し、栗東の歴史と文化を特徴づける宗教文化について改めて紹介する特集展示とその関連企画を開催します。

市民とともに楽しみ、広く活動する博物館を目指して、引き続き市民学芸員の会の活動を支援します。また、自治会やコミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣等の機会を活かし、歴史民俗博物館の活動をより広く発信する等、栗東の歴史や文化の普及啓発や歴史民俗博物館の利用促進に取り組みます。

一方で、施設や設備の老朽化への対応が喫緊の課題となっています。文化財の活用に関する社会的なニーズが高まりつつある中であって、文化財の収蔵・公開に適した環境を確保するため、大規模改修について具体化するとともに、施設や設備の年次的な更新に努めます。

図書館

1. 図書館サービス事業

① 図書館資料の収集

(内容) 図書館蔵書の充実を図るため、「栗東市立図書館資料収集方針」に基づき資料を収集します。

- ・一般図書、児童図書、逐次刊行物等を収集します。
- ・郷土資料、行政資料を収集します。

② 貸出及び資料提供

(内容) 1人30冊まで3週間の貸出や、本を紹介する刊行物の発行および特集展示による資料提供をします。

- ・貸出、予約、リクエストサービスの充実を図ります。
- ・新刊案内等の情報を提供します。

③ レファレンスサービス

(内容) 図書館で利用者の調べ物や質問に対して、図書館員が必要な資料を探すお手伝いや、資料を使って質問に答え、参考になる資料を紹介する等サービスの充実を図ります。

- ・レファレンス資料を収集します。
- ・レファレンスで必要になる専門的知識を高めるため、職員研修を実施します。

④ 子ども読書活動の推進（重点事業）

(内容)「第4次栗東市子ども読書活動推進計画」に基づく施策を実施します。(重点事業)

- ・子どもにとって魅力ある蔵書の充実および利用しやすい環境を整備します。
- ・学校、園など関係機関と連携し、子どもと本の出会いの場の提供に努めます。
- ・子どもの読書を支える大人への支援を行います。

⑤ 図書館利用が困難な人への支援

(内容) サービスが必要な方に向けて丁寧に情報発信を行い、文字での読書ならびに来館が困難な方への個々のケースに応じた読書環境の整備を推進する。

- ・点訳図書、音訳図書、CDブックを収集、提供します。
- ・ボランティア団体の協力を得ながら対面朗読等を実施します。
- ・外国人へのサービスとして外国語図書の収集を行います。

2. その他事業

① 図書館サービスの拡大（重点事業）

- ・本館、西館において図書館の開館日を変更します。月、火を休館日とした週休2日から月曜休館の週休1日に変更します。

② 市民参画事業の実施

- ・市内の子ども文庫やボランティア団体の協力を得て、市民協働による図書館事業を進めます。

③本館機能の充実並びに施設改修（重点事業）

- ・昭和 62 年の開館から 38 年目を迎え、中核図書館機能の強化に努めます。
- ・図書館施設の長寿命化対策では、大会議室空調設備の改修や、中央監視盤の更新を行います。

④西館機能の充実

- ・「第 2 次栗東市立図書館基本運営方針」での西館の位置づけに従い、身近な地域館として、調査、研究、学習が可能な子どもの居場所「学 B A S E」を拠点にして、多角的に子どもと本をつなぐ取り組みを進めます。

⑤ 3 施設連携事業の実施

- ・栗東自然観察の森、栗東歴史民俗博物館、栗東市立図書館の 3 施設で連携事業の実施に向けて取り組みを進めます。

(12)社会教育全般

社会教育推進経費 《7,766 千円》

【事業コード：1611】

- めまぐるしく変化する社会に対応するため、必要とされる社会教育の推進や事業について、社会教育委員から意見や提案を求めています。また、社会教育指導員を配置することで、さまざまな今日的課題や地域課題について学習する場を提供しています。

[担当：生涯学習課]

生涯学習講座開催事業 《866 千円》

【事業コード：1657】

- はつらつ教養大学をはじめとする各種生涯学習講座について、各学区コミュニティセンター等、身近な施設を活用して開催します。



▲はつらつ教養大学

[担当：生涯学習課]

自然観察の森管理運営経費 《17,334 千円》

【事業コード：8001・8003 他】

- 自然観察の森は、都市近郊に残る身近な自然を活用した環境教育の場として、自然に親しみ、自然を理解する事業を実施し、地球にやさしい環境づくりと自然のすばらしさを啓発しています。

[担当：自然観察の森]

■ 自然体験学習センター管理運営経費 《18,768 千円》

【事業コード：1630】

- 自然体験学習センター「森の未来館」は、豊かな自然の中で、集団活動と宿泊研修を通じて、豊かな心を育み、明るくたくましい青少年の育成を目指しています。

財源の内訳	
市の借金	1,800 千円
市の負担	16,968 千円



▲森の未来館

[担当：生涯学習課]

■ はたちのつどい開催事業 《1,295 千円》

【事業コード：1627】

- 二十歳を迎える自らが、思い出深い式典を企画するとともに、地域社会に貢献できる青年の育成を図るため、式典を開催しています。



▲はたちのつどい

[担当：生涯学習課]

■ 青少年教育・育成事業 《10,429 千円》

【事業コード：1628・1634】

- 未来を担う青少年リーダーの育成、放課後における子どもの居場所づくり、青少年育成団体に対する補助等を行う中で、青少年の育成を図ります。
- **R7** 地域学校協働本部事業を拡大。

費用の内訳

放課後子ども教室の開催など	4,545 千円
青少年育成推進員の配置、各種団体補助など	5,884 千円

財源の内訳

県の負担	1,546 千円
市の負担	8,883 千円

[担当：生涯学習課]

■ 少年センター運営経費 《17,718 千円》

【事業コード：1637】

- 少年センターでは、「青少年の非行防止、健全育成、安全を守る」活動を目指して、少年補導委員会、学校、警察などと連携し、街頭補導や相談活動などを実施しています。

財源の内訳

県の負担	1,384 千円
市の負担	16,334 千円

[担当：生涯学習課]

(2)人権尊重

人権啓発、人権対策、人権教育推進経費《29,052 千円》

【事業コード：0275・1624 他】

- すべての人びとが生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求できるよう、栗東市が差別や偏見のない住みよいまちとなることを目指し、「一人ひとりの人権を尊重するまちづくり」の具現化に向けた取組みを総合的に推進しています。
- R7** 自発的な自治会における自治会じんけんミーティング（地区別懇談会）の開催。

費用の内訳

人権文化事業など	1,512 千円
就労教育推進員配置など	7,858 千円
自治会じんけんミーティング（地区別懇談会）開催など	108 千円
人権・同和教育推進協議会事業など	6,049 千円
社会人権教育推進員配置など	13,040 千円
人権擁護委員会等の活動補助など	485 千円

財源の内訳

県の負担	1,014 千円
他団体からの助成金	223 千円
市の負担	27,815 千円



▲人権擁護委員による幼児への人権啓発活動

[担当：人権擁護課]

(6) 体育振興

社会体育施設管理運営経費 《65,677 千円》

【事業コード：1701・1711 他】

- 各学区や地域で生涯スポーツの普及のためのスポーツ推進委員の配置や、学校体育施設の一般開放などのスポーツ振興事業を実施しています。また、市内の社会体育施設等（4体育館・1陸上競技場・2野球場など）の指定管理や体育振興事業を行っています。

費用の内訳

スポーツ推進委員配置	1,545 千円
学校体育施設開放	7,758 千円
生涯スポーツ振興	974 千円
社会体育施設指定管理	55,400 千円

財源の内訳

学校体育施設利用者登録料など	1,500 千円
市の借金	4,800 千円
市の負担	59,377 千円



[担当：スポーツ・文化振興課]

各種体育大会開催事業 《3,342 千円》

【事業コード：1703】

- くりちゃんファミリーマラソンや耐寒アベック登山大会、びわこ栗東駅伝〜クロカン in 野洲川〜などの各種大会を開催し、多くのスポーツ競技者や愛好者がスポーツにふれあう機会づくりを行っています。

▼耐寒アベック登山大会



[担当：スポーツ・文化振興課]

■ スポーツ協会活動補助、体育振興事業《58,125 千円》

【事業コード：1706・1707】

- 本市のスポーツ振興および埋蔵文化財発掘調査に対して、大きな役割を担っている公益財団法人栗東市スポーツ協会への活動補助や、スポーツ振興にかかる支援を行っています。

費用の内訳

スポーツ協会補助	56,066 千円
体育振興経費	2,059 千円

[担当：スポーツ・文化振興課]

■ 社会体育施設整備事業《50,178 千円》

【事業コード：1734】

- 体育館・陸上競技場・野球場などの社会体育施設の整備・営繕・借地にかかる経費を支出し、各施設を安心、安全に利用できるように環境整備を行っています。

財源の内訳

市の借金	14,700 千円
施設使用料	346 千円
他団体からの助成金	8,000 千円
市の負担	27,132 千円



▲野洲川運動公園陸上競技場

[担当：スポーツ・文化振興課]

(10)芸術文化振興

■ 芸術文化会館管理運営経費 《202,406 千円》

【事業コード：1697】

- 市民の文化・芸術の拠点である栗東芸術文化会館さきらの指定管理や、老朽化した施設の整備、営繕といった環境整備を行っています。
- R7** 栗東芸術文化会館さきらの音響設備等を改修。

財源の内訳	
市の借金	41,500 千円
市の負担	160,906 千円

▼栗東芸術文化会館さきら



[担当：スポーツ・文化振興課]

■ 音楽活動奨励事業 《3,018 千円》

【事業コード：1612】

- 子どもから高齢者まで、多くの市民が気軽に音楽に親しんでもらえる機会の提供と活動団体への支援を行っています。

[担当：スポーツ・文化振興課]

■ 文化活動推進事業 《5,738 千円》

【事業コード：1663・1664】

- 市民参画による芸能・美術・舞台芸能などを多くの方に鑑賞してもらう機会の提供や、文化振興を広げるために活動団体への支援を行っています。

費用の内訳

文化協会補助	2,260 千円
文化活動推進費	3,478 千円

[担当：スポーツ・文化振興課]

(11)歴史文化

文化財保護事業《8,325 千円》

【事業コード：1645】

- 歴史文化資産を地域の宝として後世まで損なうことなく保存し、活用するため、調査や指定制度の推進、指定等文化財の管理や修理への補助金の交付、文化財活用事業などを行っています。
- R7** 史跡旧和中散本舗・名勝大角氏庭園保存活用計画の策定。

財源の内訳	
国の負担	1,573 千円
ふるさとりっとう応援 基金からの繰入	1,573 千円
市の負担	5,179 千円

[担当：スポーツ・文化振興課]

埋蔵文化財調査事業《5,346 千円》

【事業コード：1648】

- 埋蔵文化財の発掘調査を実施し、地域の歴史文化資産として保存・活用を行っています。

財源の内訳	
国の負担	2,413 千円
県の負担	974 千円
市の負担	1,959 千円

[担当：スポーツ・文化振興課]

■ 出土文化財センター管理運営経費 《3,973 千円》

【事業コード：1650】

- 埋蔵文化財の整理と出土遺物の一括収蔵や、埋蔵文化財を通じた学習の機会と情報の提供を行う出土文化財センターの維持管理を行っています。

[担当：スポーツ・文化振興課]

■ 歴史民俗博物館管理運営経費 《46,640 千円》

【事業コード：1688・1693 他】

- 歴史民俗博物館では「市民とともに楽しみ、活動する博物館」を目指して資料の調査・研究・展示などを行うとともに、市民のみなさまからの寄贈資料を含む、収蔵資料を安全に保管し、次の世代に継承することに取り組んでいます。
- **R7** 太平洋戦争終結から80年目を迎える令和7年度は、毎年開催している「平和のいしずえ」展について、戦争経験者の声を届ける内容で開催予定。また、市内の仏像彫刻を中心に紹介する展覧会を開催。

費用の内訳

資料調査など	8,768 千円
企画展等開催経費	1,547 千円
博物館管理運営費	36,325 千円

財源の内訳

市の借金	2,700 千円
施設使用料など	952 千円
市の負担	42,988 千円

[担当：歴史民俗博物館]

■ 図書館管理運営経費 《129,154 千円》

【事業コード：1671・1674 他】

- 「第2次栗東市立図書館基本的運営方針」に基づき、全ての市民の読書活動や生涯学習を支えるため、資料、情報の収集ならびに提供を行うとともに、学校・園・家庭・地域と連携して子どもの読書活動を推進します。また、市民との協働により、図書館運営や活動を充実します。
- R7 図書館サービス向上のため、火曜日開館を実施。**

費用の内訳

図書等整備	18,965 千円
図書館管理運営費	110,189 千円

財源の内訳

小林児童文庫図書整備 基金からの繰入	1,000 千円
JRA寄附金	7,539 千円
市の借金	5,000 千円
市の負担	115,615 千円



▲小林児童文庫図書コーナー（本館）

[担当：図書館]

